

講義名	解剖学実習
開講学年	2年
講義開講時期	後期
開講曜日・時間	月曜日 4時間目 木曜日 4時間目
単位	1

担当教員

藤田 直也

授業の達成目標	体の構造についてイラストを通じて理解してもらい。各器官の働き、特徴を踏まえ、臨床栄養学に通ずる内容の理解を目標とする。
授業の概要	塗り絵で体の器官の構造、名称を理解する。
授業形式	講義

授業計画表

回	項目	内容	キーワード・備考
1	骨格系	骨格の役割と種類、筋肉の種類について	骨格・心筋・平滑筋
2	神経・感覚系	眼の構造と働きについて	網膜・水晶体・視神経
3	神経・感覚系	鼻の中の構造と働きについて	鼻腔・臭細胞
4	神経・感覚系	耳について(三半規管、蝸牛の働きや構造について)	三半規管・蝸牛・聴神経
5	呼吸器系	肺について(肺動静脈、肺胞、横隔膜の動きについて)	肺動静脈・肺胞・横隔膜
6	循環器系	心臓について(冠状動脈の働きや血液の循環の仕方について)	冠状動脈・心房・心室
7	消化器系	肝臓や胆のうの働きや構造について	肝臓・胆のう・門脈
8	消化器系	膵臓について(外分泌や内分泌の特徴や構造について)	膵臓・外分泌・内分泌・総胆管
9	消化器系	口腔や食道の働きや構造について	口腔・歯
10	消化器系	消化器系について(胃や小腸の働きや構造について)	胃・十二指腸・空腸・回腸

11	消化器系	消化器系について(大腸の働きや構造について)	盲腸・結腸・直腸・虫垂
12	泌尿器系	泌尿器系について(腎臓の働きや構造について)	糸球体・尿細管・腎盂
13	泌尿器系	泌尿器系について(膀胱や尿道の働きや構造について)	尿管・尿道・膀胱
14	まとめ	解剖学実習まとめ	
15	テスト	学期末テスト	

事前・事後学習の内容	解剖学、生理学、臨床栄養学など関連する教科と並行して、予習・復習を行う
成績評価の方法	授業の出欠、学期末試験による総合判定 S・A+・A-・B+・B-・C+・C・Dで判定(Dは不合格) (S:90点以上、A+:85~89点、A-:80~84点 B+:75~79点 B-:70~74点、C+:65~69点、 C:60~64点、D:59点以下)
参考書	ぬりえで学ぶヒトのからだ(ぱーそん書房)
教材	プリントの配布、色鉛筆